

## 令和6年度 高等教育研究コンソーシアム信州 学生活動支援事業活動報告書

|        |             |               |
|--------|-------------|---------------|
| 団体等名   | 信州まつぼっくり    |               |
| 代表学生   | 所属大学名・学部・学年 | 信州大学工学部1年     |
|        |             | 保坂 悠翔         |
| 教職員責任者 | 所属大学名・職名・   | 信州大学准教授 小池 洋平 |

|             |  |
|-------------|--|
| 活動名         | 街中モルック体験会”街モル”関連事業   |
| 実施時期        | 2024.6-12  |
| 実施場所        | 松本城大手門枡形跡広場、公民館等   |
| 活動内容        | <p>メイン企画として『街中モルック体験会“街モル”』を10月5日10時～15時の間で松本城大手門枡形跡広場にて開催した。ここでは通りすがりの方がモルックの実際の試合を体験できるブース、試合の中で特徴的な場面を切り取って挑戦し、景品を目指してもらうブースの計2ブースを用意した。また、街モルに関連し紹介をいただいたこと、また新聞やラジオで取り上げていただいたことで様々な方からお声がけを頂き、色々な場でモルック体験会を開催することができた。</p> <p>2024.10 街中モルック体験会“街モル”開催事業実施経過</p> <p>2024.7 岡田地区にてモルック体験会開催<br/>中山地区にてモルック大会コラボ</p> <p>2024.11 岡田地区にてモルック体験会開催<br/>岡田地区にてモルック体験会開催<br/>飯山市にてモルック体験会開催<br/>安原地区にてモルック体験会開催</p> <p>2024.12 ナワテ通りにてモルック体験会開催<br/>岡田地区にてモルック体験会開催</p> <p>2024年以降も実施決定多数</p>   |
| 活動の成果と今後の課題 | <p>まず街モルに関して。子どもからお年寄りの方まで、松本市の住む方から海外の方まで、のべ190人もの方にモルックを楽しんで貰うことができた。この成果は、モルックの認知度の向上、地盤の形成を達成するだけでなく、改めて、モルックが世代を超えたコミュニティの形成に適していることを証明することになったと考える。更に、街モルに関連して松本市内の公民館と連携した体験会においては、多くのお年寄りの方、小さい子どもたちと一緒にモルックを行うことができた。そこではモルックを通じて男女、年齢関係なく皆で盛り上がり、多くの人の満点の笑顔を見ることができた。モルック面白かった、また来て欲しいという声をいただいただけでなく、またモルックをやりましょう、というようにモルックを通じたコミュニティの形成の瞬間にも立ち会うことができた。ただ、きっかけ作りには成功したが、今後どう地域にモルックを根付かせていくかが今後の課題である。そこで、今後街モルを定期的に行っていくことに加え、松本市内でのモルック連絡網の形成、いずれは松本市でモルックの大会を開けないかと考えている。</p> |

活動の様子



※記述が枠内に収まらない場合は、枠を拡大してください。

※活動内容が分かる資料や写真等があれば、添付してください。添付書類を含む活動報告書一式は、A4 判 4 枚以内にまとめてください。活動内容だけでなく、活動団体の PR を行うことができる動画を添付することも可能です。

※提出された活動報告書一式は、各関係機関等に公表するとともに、高等教育コンソーシアム信州の HP への掲載を予定しています。他人が写った写真等を許可なく使用しないなど、著作権や肖像権に配慮してください。

※申請内容から変更があった場合は、経緯を記入してください。

※本様式のほか、活動内容や成果についての報告動画を併せて作成して提出してください。